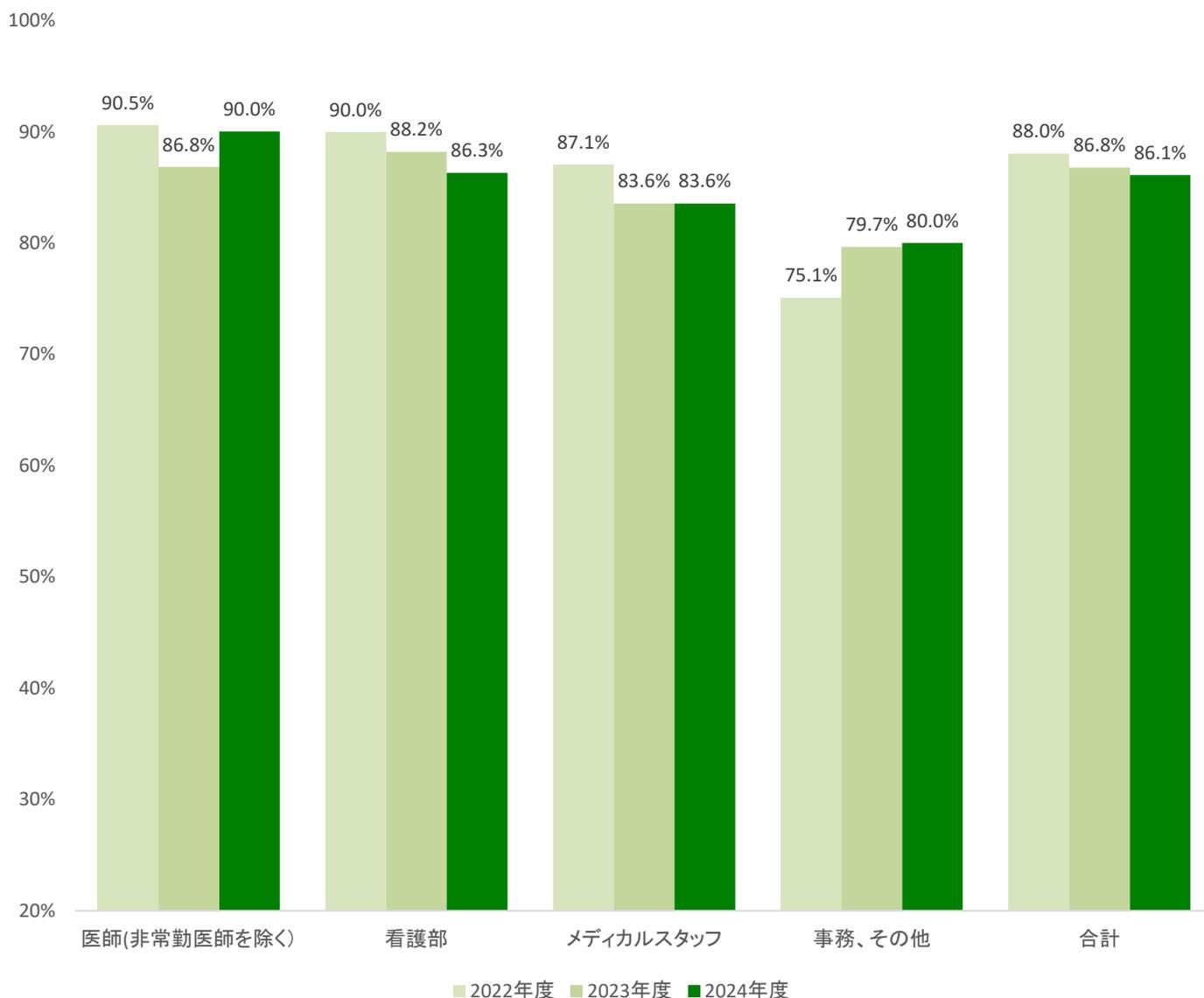


2022年度－2024年度 職種別インフルエンザワクチン接種率推移



【指標の説明】

医療機関を受診する患者さんは、免疫力が低下していることが多く、病院教職員からの感染を防止する必要があります。

医療職の接種率が高い場合には、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価出来ます。

医師の接種率が90%と回復し、感染防止の意識が高まっております。

看護師・メディカルスタッフの接種率が90%を割り込んでおりますが、他施設で接種する等、個々での対策も確認出来ております。

体調が気になればすすんでPCR検査を実施するなど、体調管理は行っております。

【計算方法】

分子: インフルエンザワクチンを予防接種した病院教職員数

分母: 病院教職員数

分子/分母 × 100